

ちの

茅野市議会だより

令和6年12月定例会

第52号

2025.3.1



茅野市議会意見交換会

まんなかに **愛** のある **未来会議**

—市議とトーク！ これからの議会について—

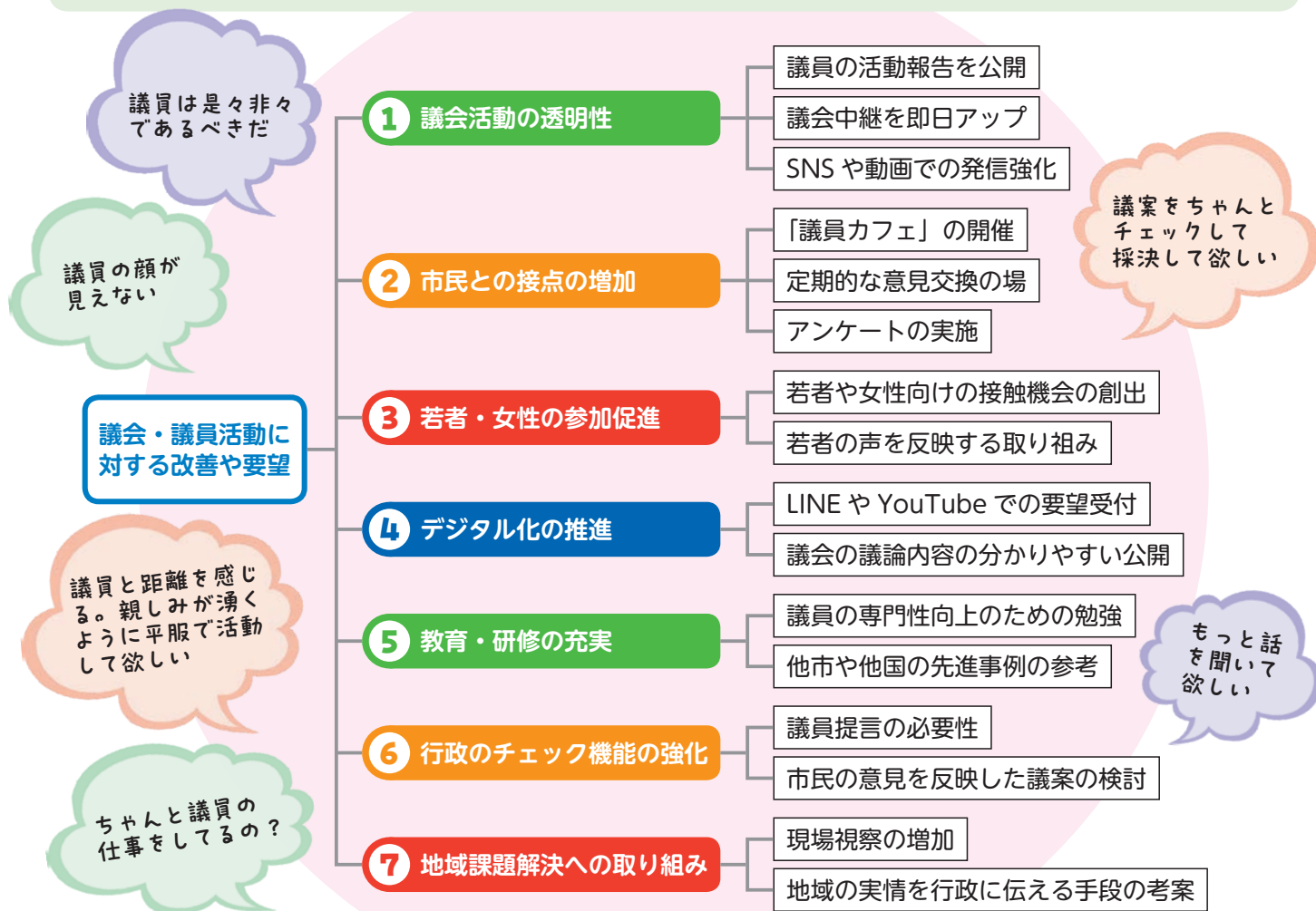


もくじ

- | | | |
|-------------------|------------------|-----------------|
| ▶ 意見交換会報告 …………… 2 | ▶ 行政視察報告 …………… 5 | ▶ 議案の審査結果 ……… 8 |
| ▶ 一般質問通告一覧 ……… 10 | ▶ 次号予告 …………… 12 | |

まんなか愛のある未来会議 —市議とトーク! これからの議会について—

市民の皆様と議員が対話する意見交換会を、令和 6 年 11 月 10 日(日) 午前と 12 日(火) 夜に開催しました。テーマを「議会・議員に期待するもの」として、合わせて 34 名の皆様にご参加いただき様々なご意見をいただきました。「議会・議員活動に対する改善や要望」「議員のなり手不足対策」「議員定数・報酬のあり方」「その他意見」の 4 項目について、活発な意見交換がなされました。今後の議会活動、議会改革に役立てていきます。



- 議会・議員活動に対する改善や要望**
- ① 議会活動の透明性の向上**
 - 議員の活動報告を定期的に公開し、マニフェストの進捗を明示。
 - 議会中継を即日アップし、市民がいつでも視聴できるようにする。
 - ② 市民との接点の増加**
 - 「議員カフェ」など、市民が議員と気軽に話せる機会を設ける。
 - 定期的な意見交換の場を設け、市民の声を直接聞く。
 - ③ 若者・女性の参加促進**
 - 若者や女性の意見を反映する取り組みを強化し、参加を促す。
 - SNS やデジタル技術を活用して、若者層へのアプローチを強化。
 - ④ デジタル化の推進**
 - LINE や YouTube などを活用し、市民からの要望を受け付けるチャネルを設置。
 - 議会の議論内容を分かりやすく公開し、興味を持ってもらう工夫をする。
 - ⑤ 教育・研修の充実**
 - 議員の専門性向上のため、定期的な研修や勉強会を実施。
 - 他市や他国の先進事例を参考に、議会の在り方を見直す。
 - ⑥ 行政のチェック機能の強化**
 - 議員提言を積極的に行い、市民の意見を反映した議案を検討する。
 - 情報開示を迅速に行い、議事録を速やかに開示する体制を整える。
 - ⑦ 地域課題解決への取り組み**
 - 現場視察を増やし、地域の実情を行政に伝える手段を強化。
 - 地域の課題解決に向けた具体的な施策を議会で議論し、実行に移す。

議員定数・報酬のあり方

① 定数削減に対する懸念

- ・削減の影響 定数削減が地域密着型の議員を減少させ、市民の意見を反映する機会を減らす可能性がある。
- ・多様な意見の必要性 議員を増やして多様な意見を反映させるべきとの意見が多い。

② 定数の適正規模

- ・現在の定数 18人は適正であり、これ以上の削減は避けるべきとの意見が強い。
- ・地域ごとの選出 各地区から2人選出する形で、20人が望ましいとの声も。

③ 議員の資質向上

- ・資質の向上 議員の資質を高めることが定数削減の代わりに求められる。
- ・議員活動の見える化 議会や議員活動の透明性を高めることで、市民の信頼を得る必要がある。

④ 報酬に関する意見

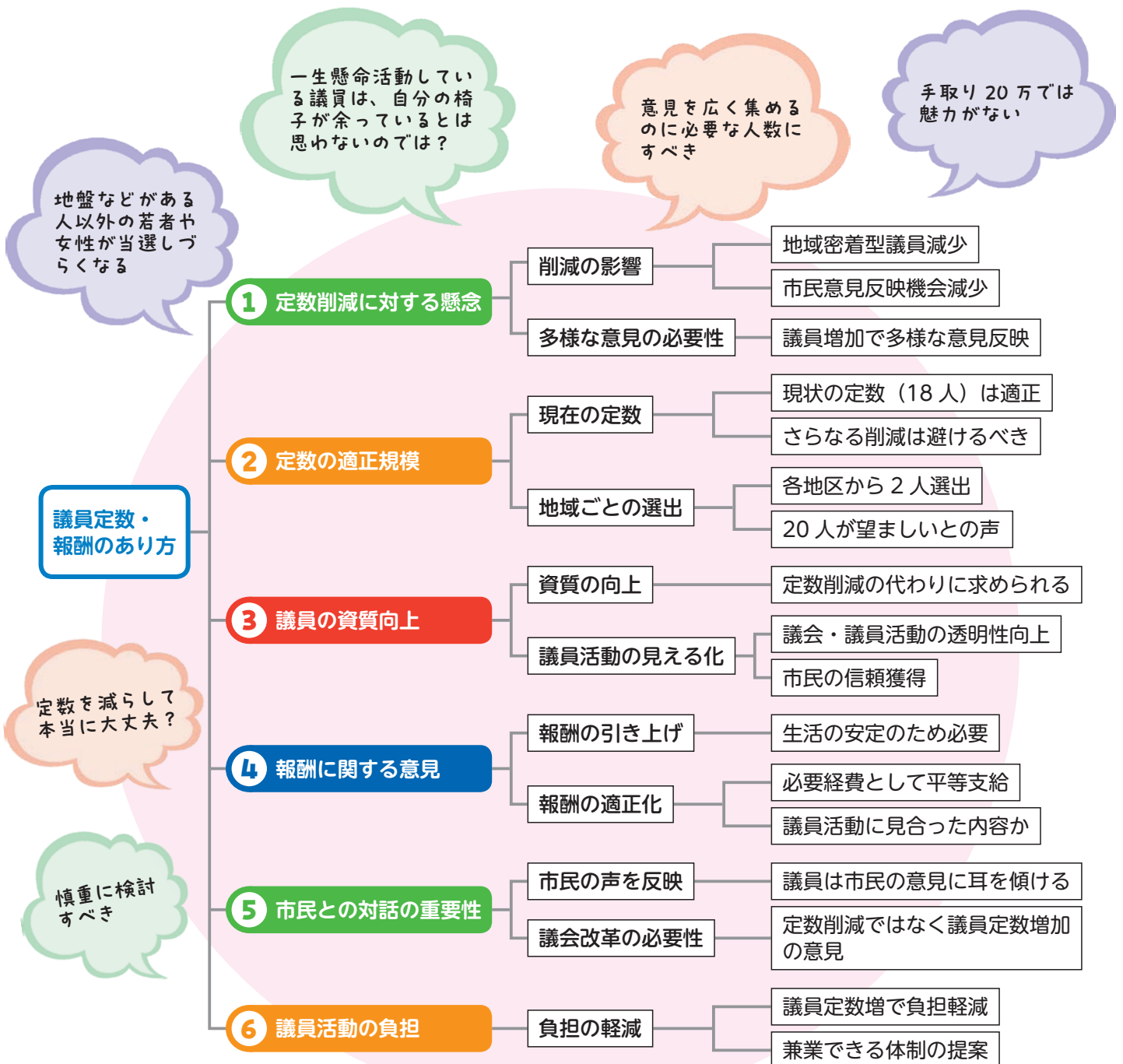
- ・報酬の引き上げ 生活の安定を図るため、報酬の引き上げが必要との意見がある。
- ・報酬の適正化 報酬は必要経費として平等に支給されるべきであり、議員活動に見合った内容であるかが問われている。

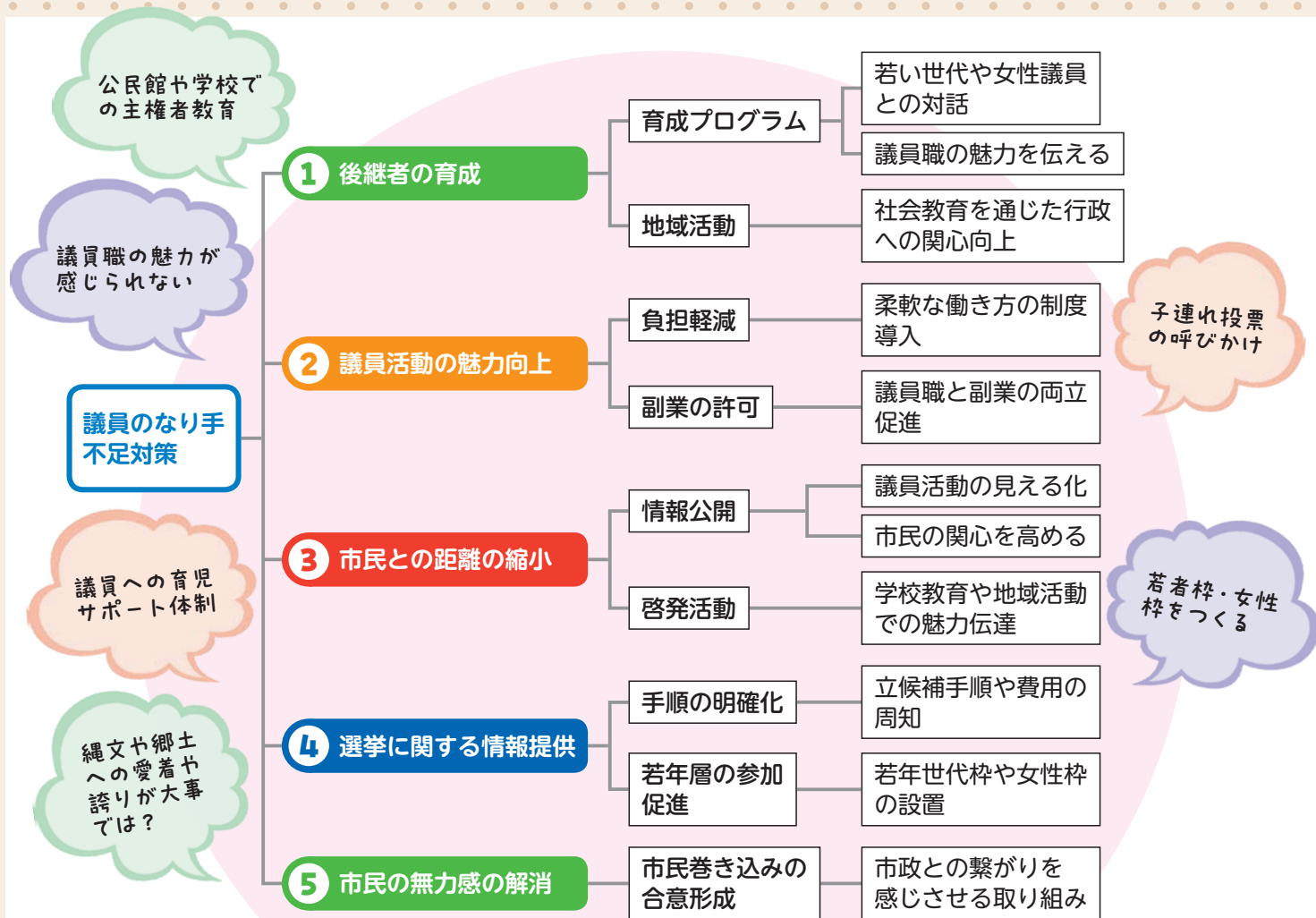
⑤ 市民との対話の重要性

- ・市民の声を反映 議員は市民の意見に耳を傾け、対話を促進する姿勢が求められる。

⑥ 議員活動の負担

- ・議会改革の必要性 定数削減が議会改革ではなく、市民の意見を広く集めるために議員定数を増やすべきとの意見も。
- ・負担の軽減 議員の人数を増やして一人一人の負担を減らし、兼業できる体制を作るのが、なり手不足解消に繋がるとの提案。





議員のなり手不足対策

① 後継者の育成

- ・育成プログラム 若い世代や女性議員との定期的な対話の場を設け、議員職の魅力を伝える。
- ・地域活動 地域や公民館での社会教育を通じて、行政への関心を高める。

② 議員活動の魅力向上

- ・負担軽減 議員活動の負担が大きすぎるため、柔軟な働き方を可能にする制度の導入が必要。
- ・副業の許可 議員職と副業の両立を促進し、立候補しやすい環境を整える。

③ 市民との距離の縮小

- ・情報公開 議員の活動を見える化し、市民がチェックできるようにすることで関心を高める。
- ・啓発活動 学校教育や地域活動で議員職の魅力を伝える取り組みを強化。

④ 選挙に関する情報提供

- ・手順の明確化 立候補の手順や選挙にかかる費用を広く周知し、ハードルを下げる。
- ・若年層の参加促進 若年世代枠や女性枠を設け、議員職を将来の選択肢として位置づける。

⑤ 市民の無力感の解消

- ・市民巻き込みの合意形成 市民が市政に繋がっていると感じられるような取り組みを強化し、無力感を軽減する。

その他意見

市民の様々な意見が寄せられており、議員や市政に対する透明性、地域コミュニケーションとの連携、財政（お金の使い方）に関する疑問が出されていました。また、市民の声を多様な方法で聴取し、具体的なテーマでの議論を促進する必要性が指摘されました。（編集…議会広聴部会）



令和6年度行政視察報告

総務環境 委員会

委員長 東城源
副委員長 木村かほり
委員 沢明夫
委員 野月克
委員 望

市側随行

市民環境部長 平沢幸人

議会事務局随行

次長 若岡康隆

11月5日(火)

視察地

愛知県 春日井市

先導的モビリティに関する取組について

研修会場 春日井市議会委員会室
視察対応者

春日井市議会 加納議長

春日井市議会事務局 水野主査

春日井市まちづくり推進部都市政策

課 熊沢課長補佐、津田主査

研修・視察内容

高蔵寺ニュータウンは春日井市の東



春日井市議会での研修

部に位置し、1968年(昭和43年)から入居が始まった日本三大ニュータウンの一つで、現在は約4万人の方々が暮らしていますが、人口はピーク時から比べると1万人ほど減少しています。初期の入居者が一斉に高齢化していることや、区域内の人口も減少していること、また公共交通がバスのみであり、坂道の移動困難性の克服、高齢者の外出機会の減少、バス本数の減少(人口ピーク時の約4分の3)、バス停

から自宅等までのラストマイル問題といった課題を抱えていたことから、2016年(平成28年)3月に「高蔵寺リ・ニュータウン計画」を策定しました。続いて2018年(平成30年)には、「高蔵寺ニューモビリティタウン構想」を策定し、内閣府の「近未来技術等実装事業」に選定されました。これは産学官連携により自動運転を含む新しいモビリティサービスを導入し、既存のバス交通とのベストミックスを模索するものであり、丘に作られたニュータウンの特性に応じた、高蔵寺ニュータウン版のMaaSの構築を目指すものとなっています。

さらにニュータウンの一地区である



春日井市議会での研修

「石尾台」では住民が主体となり、サービスの担い手となってNPO法人を設立し、ゴルフカートを用いた有償運行を2022年(令和4年)から開始しています。他にも社会実装検討として、タクシーを一台地域に常駐させて「オンデマンド乗合サービス」を行ったり、春日井版MaaSウェブアプリ「Move! かすがい」を公開するなど、都市部ではありながら公共交通機関とのベストミックスによる、住民の移動手段の確保に取り組まれました。



国内初のオンデマンド型自動運転送迎サービス

11月6日(水)

視察地 三重県 桑名市

公民連携「コラボ・ラボ桑名」について

研修会場

桑名市議会 議会棟委員会室

視察対応者

桑名市議会事務局 伴主査

桑名市市長公室 近藤政策創造課長、

日紫喜課長補佐

研修・視察内容

桑名市は、2004年（平成16年）に桑名市、多度町、長島町が合併した人口139,000余の市で、名古屋市へ電車で約20分という交通の便の良さからベッドタウンとして発展してきました。しかし国内の他市と同様に、少子高齢化や社会保障関係費の増大、公共施設の老朽化など、様々な課題を抱え、2014年（平成26年）には経常収支比率が99・7%に達し、危機的な財政状況に陥ったことにより、官民連携を積極的に推し進めることになりました。平成27年には専門部署をつくり、官民連携を専門的に研究する東洋大学大学院へ職員が入学。さらに連携提案の専用窓口を設けようとなりましたが、時期尚早と判断し、再構築となったとのことでした。

そこで取り組みのファーストステップ

プとして、民間からアイデアを募る「広告事業提案制度」、「ネーミングライツ・パートナーシップ提案制度」を開始。市の財政負担がなくとも市民サービスや利便性の向上、歳入の確保につながる事例を重ね、民間事業者と連携するメリットを共有していきました。「問い合わせ先が分からない」という民間事業者の不満や、「思うような提案が得られない」といった職員の戸惑い等も理解した上で、平成28年10月に「コラボ・ラボ桑名」を創設しました。「コラボ・ラボ桑名」は、提案をもち込む事業者のワンストップ対話窓口で、現在は職員3人で運営されています。テーマ型やフリー型など4タイプ



桑名市議会での研修

で提案を受け付け、原課とのマッチングが進められています。代表的な事例として、財政難により運営が止まっていた健康増進施設「神馬の湯」があり、コラボ・ラボの窓口を通して官民連携が実現。施設の建設運営費は事業者が負担するという民設民営で事業が実現した上、市には年間約500万円の地代収入が入るようになりました。

庁内でも連携の意識が浸透しはじめ、複数の福祉施設を統合した「桑名福祉ウィレッジ」といった事例も生まれ、令和4年度までの提案総数は218件で、その内70件が実現に至っています。積み重ねの効果は数字にもあらわれ、経常収支比率も13・9ポイント改善しました。

できない理由を考えると、どうすれば実現できるのかを考え、まちのためになるのなら条例を変えるくらいの気概が大切、

という担当の方からのお話が特徴的でした。

サウンディング型市場調査

● 提案事業者 2者

プロポーザルの実施

● 提案内容(タイムズ)

- ① 料金体系 60分200円
最大料金…全日24時間400円、定期契約…5,000円(税別) 約70台分
- ② 貸付料 年額1,200,000円(税別)
※現在:年額4,800,000円(R6.4.1~)

市の駐車場施設を借受けて、
タイムズの時間貸駐車場として運営

選定

● タイムズの提案を採用

【活用後】

- ・ 民間事業者(タイムズ)からの提案により、**維持管理が不要**に
- ・ 民間ノウハウにより**稼働率UP**
- ・ **マイナス250万円がプラス120万円に！**

市役所利用者は引き続き無料



コラボ・ラボによる成功例 ～市役所駐車場の有効活用（サウンディング型市場調査）～

11月7日(木)

視察地

愛知県 知多郡
東浦町

委託事業者と連携したメルカリ Shopsの開設について

研修・視察会場

トーエイ株式会社本社

視察対応者

東浦町議会 間瀬副議長

東浦町議会事務局 鈴木局長

東浦町生活経済部 畔上環境課長

東浦町生活経済部環境課 久野係長、

北田主事

トーエイ株式会社

室伏専務兼CFO、徳島営業部長、

神原次長、今津リーダー、犬飼

ファシリテーター

研修・視察内容

東浦町は愛知県の知多半島北東部に位置し、名古屋市に近いことから昭和45年以降大規模な住宅開発が進み、1948年(昭和23年)の町制施行時15,677人だった人口は、2016年(平成28年)3月には50,000人を超えるなど、町としては全国屈指の人口が多い町です。徳川家康の生母「於大の方」の生地としても知られています。

2019年(令和元年)度から家庭系可燃ごみ処理の有料化を開始し、一日



東浦町トーエイ本社での研修

一人当たり558gの処理を429gまで減少させようと取り組んでいますが、更なるごみの減量とリユースを促進させるため、おもちゃのリユース・リサイクルに取り組み始めました。また町内の事業者である「トーエイ株式会社」に粗大ごみのリユース販売ができないかと相談したところ、「回収の受付と販売を一連で行えばできるのでは?」と提案されたことから、「メルカリShops」での販売に至りました。ショップ名は「ひがしうらリユース by トーエイ」。

これまで東浦町では、戸別回収した粗大ごみは東部知多クリーンセンターで破碎し焼却するなどの処理をしていましたが、回収した粗大ごみの内、町

民の同意を得られたリユース可能なものを委託事業者であるトーエイが選定、清掃した上で「メルカリShops」で販売しています。「メルカリShops」を使った自治体の粗大ごみ販売としては全国で11番目ですが、委託事業者と連携した取り組みは全国初の取組とのことでした。

令和6年4月の開設以降、粗大ごみは21点、玩具は53点の取扱いで、売上高としては7万円規模と事業としては採算がとれるものではありませんが、町民への意識醸成や、企業として儲ることよりも地域への貢献といった点に力を入れています。こうした地元事業者との連携は、前日の桑名市同様、職員の意識も肝要であると感じました。



東浦町トーエイ本社での研修



メルカリ Shops「ひがしうらリユース by トーエイ」を視察

令和6年12月定例会



茅野市議会令和6年12月定例会は、11月29日（金）から12月20日（金）までの会期で開催されました。
市側提出議案12件、議会側提出議案1件、陳情1件が審議され、議会側提出議案1件が否決された以外は、いずれも原案のとおり可決・同意されました。
なお、今回経済建設委員会に付託された議案はありませんでした。

各委員会における 主な議案の審査

予算決算委員会（12月12日）

委員長 望月 克治

議案第85号
令和6年度茅野市一般会計補正予算（第6号）について
可決
全会一致

この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3億1千951万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ30億7千831万9千円とするもの。
主な補正の内容（歳出）

- ・諏訪広域公立大学事務組合負担（金）7千298万円
- ・ふるさと茅野市応援寄付金事業費4千661万3千円
- ・国県支出金等過年度精算による返還

議案第86号
令和6年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
可決
全会一致

この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ87万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ57億2千228万4千円とするもの。
補正の内容（歳出）

- ・一般会計への繰入金87万6千円

議案第87号
茅野市水道事業特別会計補正予算（第1号）について
可決
全会一致

この議案は、収益的支出の予定額に、

655万4千円を追加するもの。
補正の内容（支出）

- ・営業費用（人件費）655万4千円

議案第88号
茅野市下水道事業特別会計補正予算（第1号）について
可決
全会一致

この議案は、収益的支出の予定額に、124万5千円を追加するもの。
補正の内容（支出）

- ・営業費用（人件費）124万5千円

総務環境委員会（12月13日）

委員長 東城 源

議案第81号（審査日11月29日）
茅野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について
可決
全会一致

この議案は、人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じた給与改定を行うため、条例を整備するもの。

議案第79号
令和6年度永明小中学校サブグラウンド整備工事の変更請負契約について
可決
全会一致

この議案は、永明小中学校サブグラウンド整備工事の請負契約について、

急激なインフレーションに伴い請負金額が適当ではなくなったことから、請負契約書の規定に基づき契約内容の一部を変更するもの。

問 この変更契約は議決が必要な額を超えているために変更が明らかになったが、基準以下でインフレスライド要綱により変更した契約はあるか。

答 そのような変更はある。その場合は決算書によって明らかにしている。

問 議決の要件を満たさない変更契約は公表とはならないのか。

答 公表はしている。

議案第80号
諏訪広域連合規約の一部変更について
可決
全会一致

この議案は、諏訪地区小児夜間急病センターの運営が令和6年3月末をもって終了し、令和6年9月に諏訪地区小児夜間急病センター条例を廃止したことに伴い関係規定を整備するもの。

議案第84号
茅野市湖東白井出財産区管理会条例について
可決
全会一致

この議案は、茅野市湖東白井出財産

区が、議会制から管理会制に移行するために提出されたもの。

問 議会制から管理会制に移行するための基準は。

答 特に基準はない。

問 他にもこのような事例はあるのか。また、手続きは必要か。

答 まずは各財産区での考えである。また、法令に則った手続きは必要である。

問 管理会であれば公職選挙法による兼務の制限はなくなるのか。また、管理会制から議会制への移行も可能か。兼務は可能となる。また、管理会制から議会制への移行も可能である。

福祉教育委員会（12月16日）

委員長 木村 明美

議案第82号

茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

全会一致 可決

この議案は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令が施行されたことに伴い、関係規定を整備するもの。

問 条例改正によって、現時点で茅野市内で配置が変わる園はあるのか。

答 この条例は小規模保育の関係を定める基準になる。現時点で茅野市には小規模保育はない。

議案第83号

茅野市都市公園条例の一部を改正する条例について

全会一致 可決

この議案は、令和6年の夏に営業を終了した茅野市運動公園のプールを廃止するため、関係規定を整備するもの。付則にある、回数券払い戻しの金額算出方法および、「別に定める方法」により払い戻すとはどういうことか。

答 回数券1枚の金額につき額面を綴りの枚数で割り、1円以下の端数は切り上げて、1円単位の算出でその枚数に応じて支払いをする。また、未利用の回数券があった場合には、スケートセンターの窓口持参し、未利用回数券払戻申請書に記入し、写真付き身分証明書で本人確認をした上で現金で払い戻す。

陳情10

国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情書

少数 賛成により 不採択

委員会での意見

○全国の知事会、市町村、市長会でも言っていることであり、これに反対

する理由はないので採択。

○他の支援もみんな含まれる、このまままで採択。

○低所得者対策、そちらにもっと力を入れてもらうような意見書にすべきではないか。趣旨は理解できるので内容全体として趣旨採択。

○国庫負担の増額が必ずしも制度改正や個人負担の減額に結びつくというような内容ではない。問題は制度にあると思う。願意については十分に理解ができるので趣旨採択。

○調査をしたところ、国保加入率は全国平均21・2%、社会保険加入率は63・4%。国保の3倍の加入者であるのに社会保険の国費投入は国保の四分の1。国保にはかなりの金額が入っている。もっと抜本的なことを求めていく必要があるので不採択。

○令和4年度から未就学児の均等割保険料半額軽減の措置を講じている、その支援に国の財政確保が必要で、安定的な国保運営を考えれば慎重に検討した方がいいと考えるので不採択。

○国庫負担の増額が、イコール陳情趣旨に書かれている背景のものが達成されるような内容ではないので不採択。

○運営主体が国保の場合は県なので、県へ陳情を出し、それを後押しする形で市町村議会にも意見書を出して欲しいというのなら理解できる。確定的な理由が明確でないので不採択。

12月定例会 陳情採決結果

	表 題	趣 旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情 10	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情書	国民健康保険財政への国庫負担の増額を意見書として政府関係機関に提出することを求める。	諏訪地方社会保険推進協議会	不採択	採択

陳情 10 は委員会では不採択でしたが、本会議では賛成多数で採択されました。

茅野市の課題を問う！

令和6年12月定例会一般質問通告一覧①

一般質問における実際のやりとり、市側の答弁については、記載のQRコードから動画でご覧いただけます。

件 名		小項目・動画 QR コード	
佐々木 美智子	1	AI 乗り合いオンデマンド交通「のらざあ」の持続可能性	(1) 運行ルートと運行環境の改善について (2) 他地域のオンデマンド交通との比較について (3) ドライバー不足の解消方法について
	2	人口減少下における市内小学校の統合と学校の在り方	(1) 市内 9 つの小学校の児童数推移と浮上する課題について (2) 学校の存在意義と在り方について (3) 学校と地域の連携・協働の必要性について (4) こどもたちの学習権と教育の自由について
両角 直樹	3	小学校再編の方針転換による今後の「行財政改革プラン 2023」への影響について	(1) 令和 6 年度現時点での優先改革事項の進捗状況について (2) 小学校再編先延ばしによる優先改革事項の削減目標への影響について (3) 小学校再編方針の方向転換に至った経緯と理由について (4) 通学区の変更を踏まえた市全体としての小・中学校再編の考え方・今後の見通しについて (5) 小学校再編検討延期に伴い第 1 次茅野市小中学校管理計画実行の必要性について
木村 明美	4	健康増進の取組について	(1) 健康増進の取組について (2) 「ライフコースアプローチ」を踏まえた健康づくりについて (3) デジタルを活用した健康づくりについて
洪澤 務	5	茅野市消防団総合計画について	(1) 消防団組織の適正配置案について (2) 消防団機械器具の配備と屯所の維持管理について (3) 消防団の事業について (4) 新体制における出動計画について (5) 自主防災組織との関係性について
向山 平和	6	学校給食費無料化について	(1) 5000 筆の無料を求める市民の声をどう受け止めていますか (2) 無料化についてどのように検討されましたか (3) 1 食 15 円の補助の継続について (4) 市の補助金の増額について
机 博文	7	農地貸借の仕組が大きく変わることについて	(1) 利用権設定等促進事業廃止の耕作者への周知状況について (2) 利用権設定等促進事業が廃止され、農地中間管理事業に統合されることへの課題及び影響等について (3) 機構集積協力金等の活用について (4) 策定中の地域計画との関わりについて
	8	茅野市ゼロカーボン戦略の推進について	(1) 2030 年までに目指す温室効果ガスの削減目標と課題について (2) 市民の意識醸成に向けた取組について (3) 官民連携と行政間での連携による取組について
木村 かほり	9	個別避難計画の進捗状況について	(1) 進捗状況について (2) 現時点での課題について (3) 今後のスケジュールについて
	10	茅野市における自然保育の取組について	(1) 自然保育の取組の現状について (2) やまほいく認定について (3) 今後の取組について

12月定例会一般質問通告一覧 ②

	件 名	小項目・動画 QR コード	
野沢 明夫	11 税務行政について	(1) 知事感謝状授与の経過と内容 (2) 収納率向上の取組の現状 (3) 長野県滞納整理機構への移管状況 (4) 職員時間外勤務の現状と要因	
	12 令和6年度まちづくり懇談会について	(1) 開催状況は (2) テーマ設定過程での検討内容は (3) 市民に伝えるべき事柄は十分か (4) 市民から官民連携の推進のアイデアや提言はあったか (5) 今後の開催方法に展望はあるか	
伊藤 勝	13 諏訪鉄山の今後の活用について	(1) 諏訪鉄山についてどのような歴史的認識をもっているか (2) 来年戦後80年の節目で何か市民に広く知ってもらおう企画をしているか (3) 遺跡、歴史をどのように後世に伝えるか	
	14 公契約条例について	(1) 変更請負をどのように受け止めているのか (2) 説明のあった労務費の調査をしているのか (3) 公契約条例の考えは	
竹内 巧	15 時代に即した「市民が主役のまちづくり」について	(1) 市民が主役のまちづくりを実現するために必要なことについて (2) 行財政改革が進められる中で、行政支援の具体的な形について (3) パートナーシップのまちづくりの新たなステージについて (4) モデル地区で進めている「区・自治会の在り方」の進捗状況と今後の進め方について (5) 入区・入会に対する市の取組について	
	16 温泉施設に対する行財政改革の進め方について	(1) 温泉施設の行財政改革の進捗状況について (2) 改革を進める際の市民対話の持ち方について (3) 情報発信のタイミングと打ち出し方について	
両角 実晃	17 鉢巻道路の整備と八ヶ岳西麓の活性化について	(1) 鉢巻道路の整備について、これまでどのような対応をされてきたのか。また、県の考え方の把握について (2) 鉢巻道路が、八ヶ岳西麓の活性化に果たす役割をどのように考えていますか (3) 鉢巻道路の整備は、単に八ヶ岳西麓の活性化だけでなく、大きな可能性があると思います。道路に着目した「環八ヶ岳」への市としての想いや構想について	
梯 泰弘	18 行財政改革の進捗状況及び今後の方針について	(1) 行財政改革における優先改革事項の進捗状況について (2) 行政評価の取組状況について (3) 今後、歳出を圧迫する分野へのアプローチについて (4) 市の資産を活用した収益向上策について (5) ふるさと納税における別荘利用者向けサービス拡充について (6) 行財政改革における成果や課題等の情報発信について	
小尾 一郎	19 災害時孤立可能性集落と道路整備について	(1) 災害時孤立可能性集落とどのような集落を指すのか (2) 茅野市で災害時に孤立集落が発生する可能性について (3) 道路整備とはどのようなものなのか (4) 市の一般的な道路整備に関する優先順位等の方針について (5) 災害に対応した道路整備に関する市の方針について (6) 市の道路整備一般の現状と今後について (7) 災害を想定した道路整備の現状と今後について	
望月 克治	20 国民健康保険被保険者証が発行されなくなった対応について	(1) 資格確認証はどういう方に発行するのですか (2) マイナ保険証にしている方への対応はどうなりますか	
	21 デジタル田園健康特区の現状について	(1) 活用する項目は選定できましたか (2) 電子処方箋の検証事業の結果は出ましたか (3) 空き家対策の実証調査事業の結果は出ましたか	
	22 市役所の窓口での対応について	(1) 窓口ワンストップサービスはどこまで進んでいますか (2) 障害となっているのは何ですか	



令和6年12月定例会 賛否が分かれた議決結果

○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	議決結果	両角直樹	梯泰弘	向山平和	佐々木美智子	渋澤務	木村明美	竹内巧	木村かほり	両角実晃	東城源	机博文	小尾一郎	樋口敏之	野沢明夫	伊藤勝	望月克治	長田近夫
陳情 10	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情書	賛成多数により採択	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	●
議員提出議案 4	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書（案）	賛成少数により否決	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	●



議場で行われる本会議は ライブ中継と録画映像でご視聴いただけます。

議場で行われる本会議は、下記の予定に合わせてビーナチャンネル（12Ch 茅野市コミュニティ放送）とインターネットでライブ中継を行います。テレビで、ネットで、ぜひご覧ください。

なお、本会議や一般質問等の録画映像は、後日議会ホームページで配信します。詳しくは議会ホームページをご確認ください。

また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧もできますので、併せてご利用ください。



録画映像
QRコード



会議録
QRコード

茅野市議会

検索

みなさんもぜひ傍聴にお越しください！



市議会の本会議及び各常任委員会はどなたでも傍聴できます。予約の必要はありません。

本会議の傍聴を希望される方は、直接議会棟3階までお越しください。事務局への連絡は不要です。

なお、委員会の傍聴をご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

3月定例会本会議予定

- 2月25日（火） 開会、提案説明、先議案件採決
- 3月4日（火） 議案質疑、委員会付託
- 3月6日（木） 一般質問
- 3月7日（金） 一般質問
- 3月10日（月） 一般質問
- 3月21日（金） 委員長報告、採決、閉会

※変更される可能性もあります。
詳しくは議会ホームページでご確認ください。



ちの市議会だより第53号は、6月1日発行予定です。

令和7年3月定例会、議会活性化の取り組み 他